

まちづくりワークショップにおける クリプトムネシアと自己効力感の関係

都市・地域デザイン研究室 福井菜那

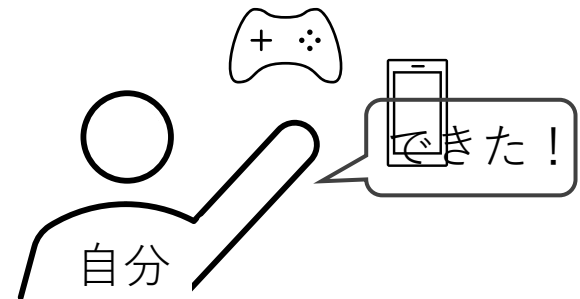
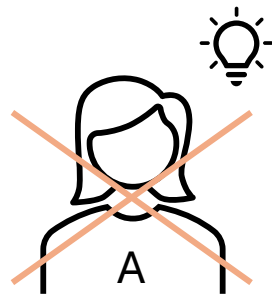
まちづくりワークショップと自己効力感

住民参加型のまちづくりワークショップでは、主体的参加を促すために
自分ならできるという気持ち（自己効力感）を高めることが重要

- 自分ならできると思わせるために、**勘違い**による成功体験を生みだそう

① 他者のアイデアを自分のアイデアだと**勘違い**

クリプトムネシア
(Richard & Marsh, 1997)



仮説1：クリプトムネシア（勘違い①）が生じると自己効力感が上昇する

まちづくりワークショップと自己効力感

住民参加型のまちづくりワークショップでは、主体的参加を促すために
自分ならできるという気持ち（自己効力感）を高めることが重要

- 自分ならできると思わせるために、**勘違い**による成功体験を生みだそう

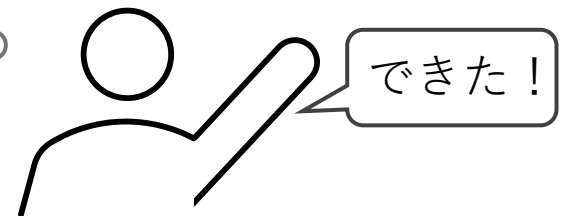
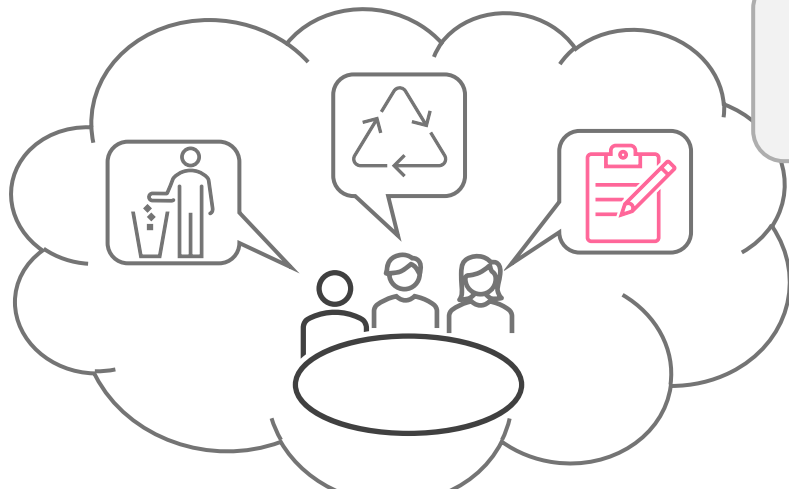
① **他者のアイデアを自分のアイデアだと勘違い**

クリプトムネシア
(Richard & Marsh, 1997)

② 話し合いには出ていないアイデアを誰かが発言していたと**勘違い**

話し合いが活発で有意義なものだと思う

▶ 集団に対する肯定的評価が自己評価と結びつく
(Luhtanen & Crocker, 1992)



仮説 2 : 出ていないアイデアの思い込み（勘違い②）が生じると自己効力感が上昇する

実験の仮説と目的

- 仮説

1. クリプトムネシア（勘違い①）が生じると自己効力感が上昇する
2. 出ていないアイデアの思い込み（勘違い②）が生じると自己効力感が上昇する

- 目的

上記仮説を、模擬まちづくりワークショップで検証する

- アイデアの改善とクリプトムネシア



▶ 改善あり/改善なし条件を設定

Brown & Murphy (1989)

実験概要

- 実験参加者

学生42名

- 模擬ワークショップの概要

- 参加者は3人1グループ，改善あり条件・改善なし条件に割り当てる

- 話し合いのテーマ

「住民がごみ分別に取り組みやすくするために，行政と地域が連携して行える取り組み」

自分ならできるという気持ち (自己効力感) アンケート

開始前アンケート

ワークショップ

終了後アンケート

- 開始前・終了後で自分ならできるという気持ちの変化をみるために
同じアンケートを実施

Bandura(2006)の自己効力感尺度の作成指針に基づいて作成

〈アンケート内容一例〉

1. 私は、何か意見を出すときは、自信を持って行うほうである。
2. 私は、話し合いの場で自分の考えをはっきり伝えられるほうだ。
3. 私は、周囲と意見が違っていても、自分の考えを述べることができる。

- 採点方法

1～7の7段階で回答してもらい、前後の変化量を算出

1：全くそう思わない， 4：どちらともいえない， 7：非常にそう思う

ワークショップ内容

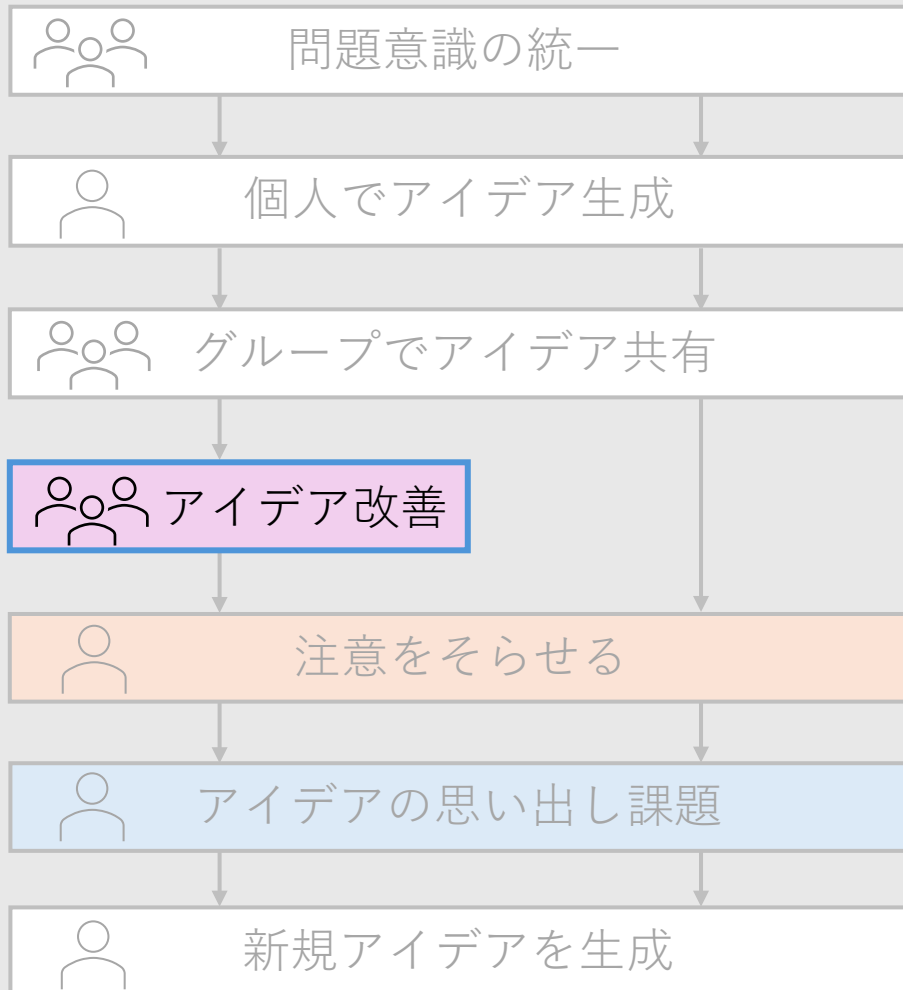
開始前アンケート

ワークショップ

終了後アンケート

改善あり条件

改善なし条件



【グループで出たアイデアを3つ改善】

- ファシリテーターが改善の余地のあるアイデアを選定
- 内容を追加する形で改善

ワークショップ内容

開始前アンケート

ワークショップ

終了後アンケート

改善あり条件

改善なし条件

回答フォーム

〈自分が考えたアイデアを記入してください〉

- 自分

- 自分

- 他人

クリプトムネシア 1個



アイデアの思い出し課題



新規アイデアを生成

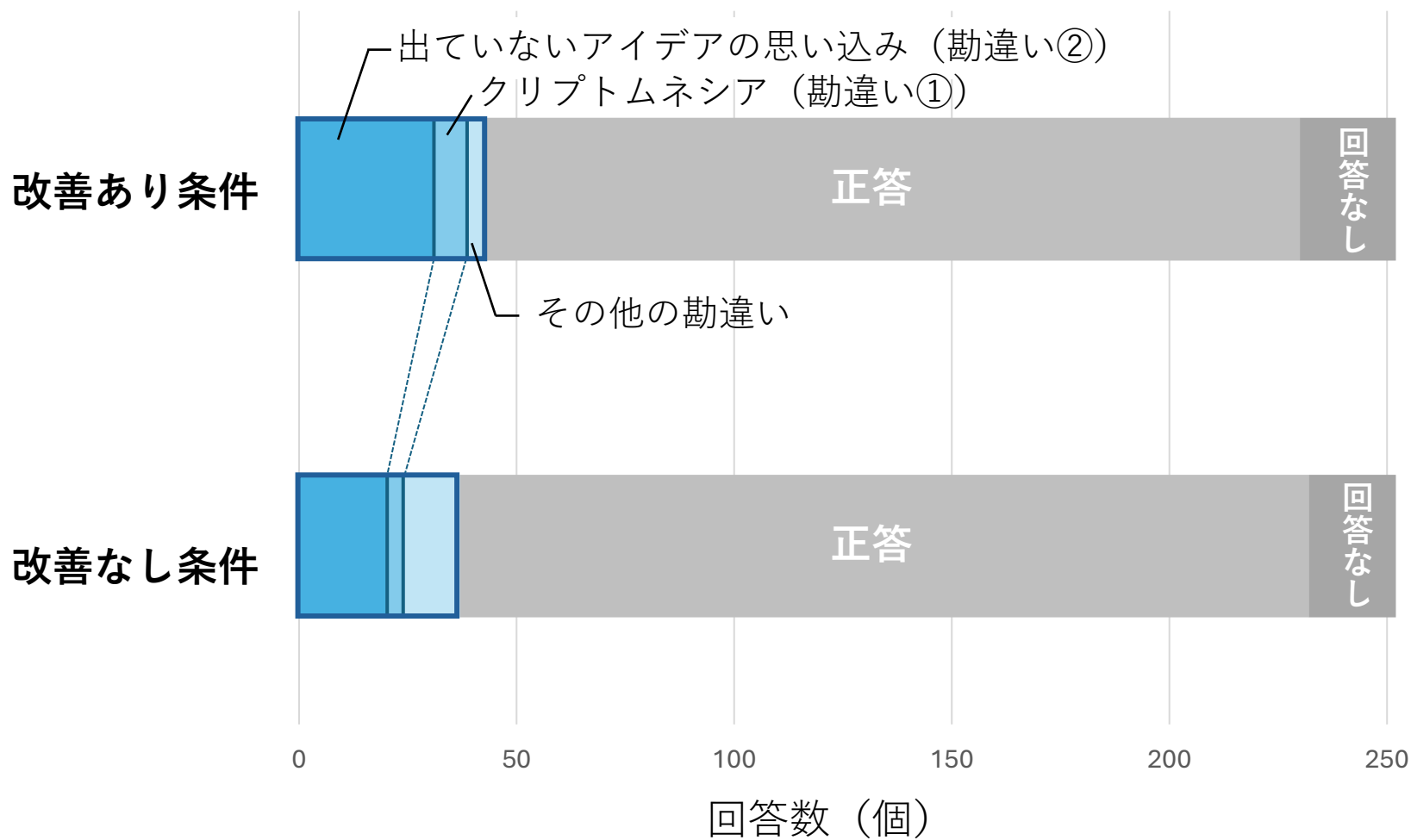
【アイデア共有で出たものを
思い出してもらう課題】

自分と他2人のアイデアを3つずつ
思い出し、フォームにて提出してもらう

全ての回答

- 勘違い
 - ・ クリプトムネシア (勘違い①)
 - ・ 出ていないアイデアの思い込み (勘違い②)
 - ・ その他の勘違い
- 正答

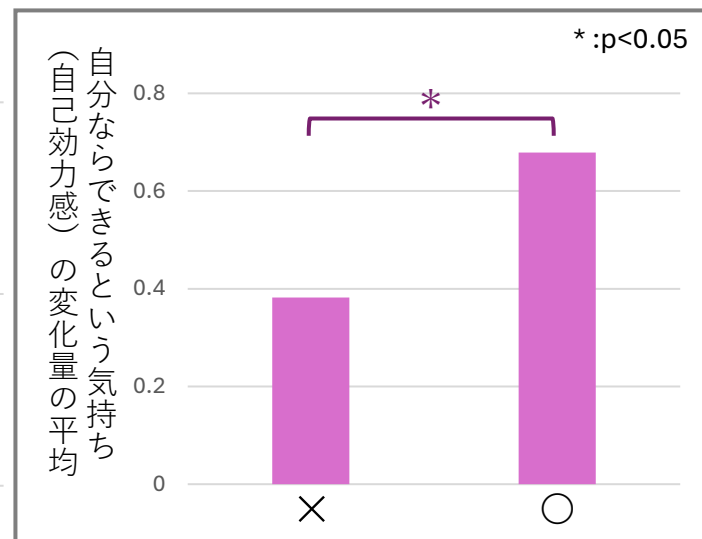
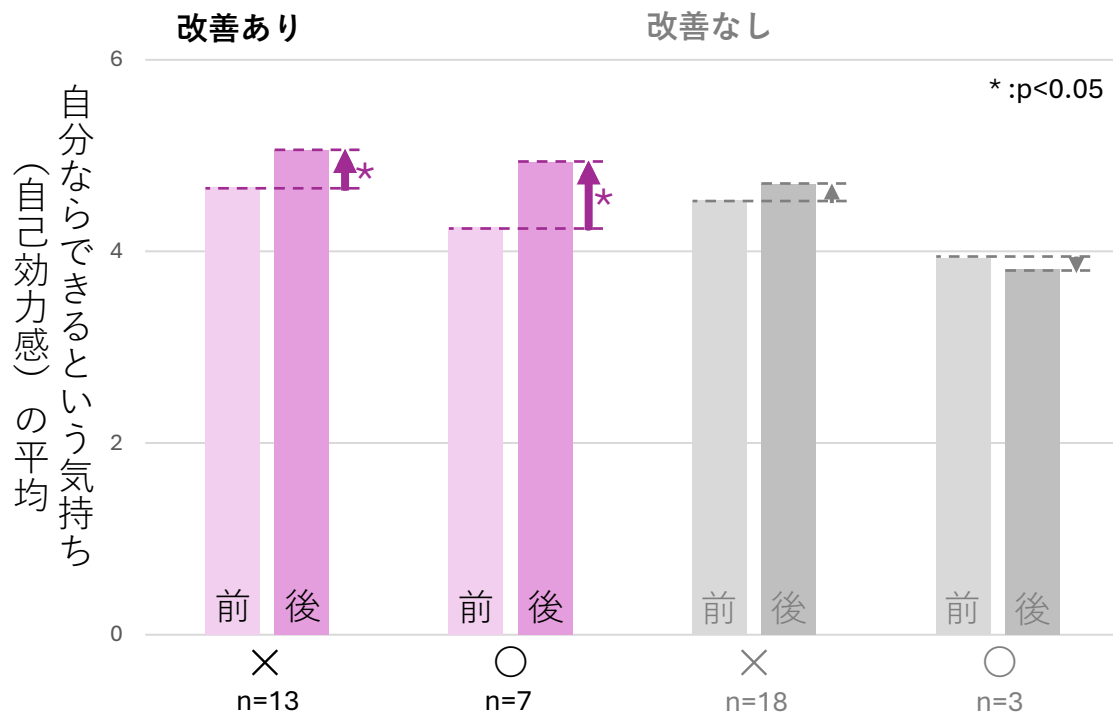
結果 勘違いの個数



クリプトムネシアは改善あり条件で多く生じた

結果

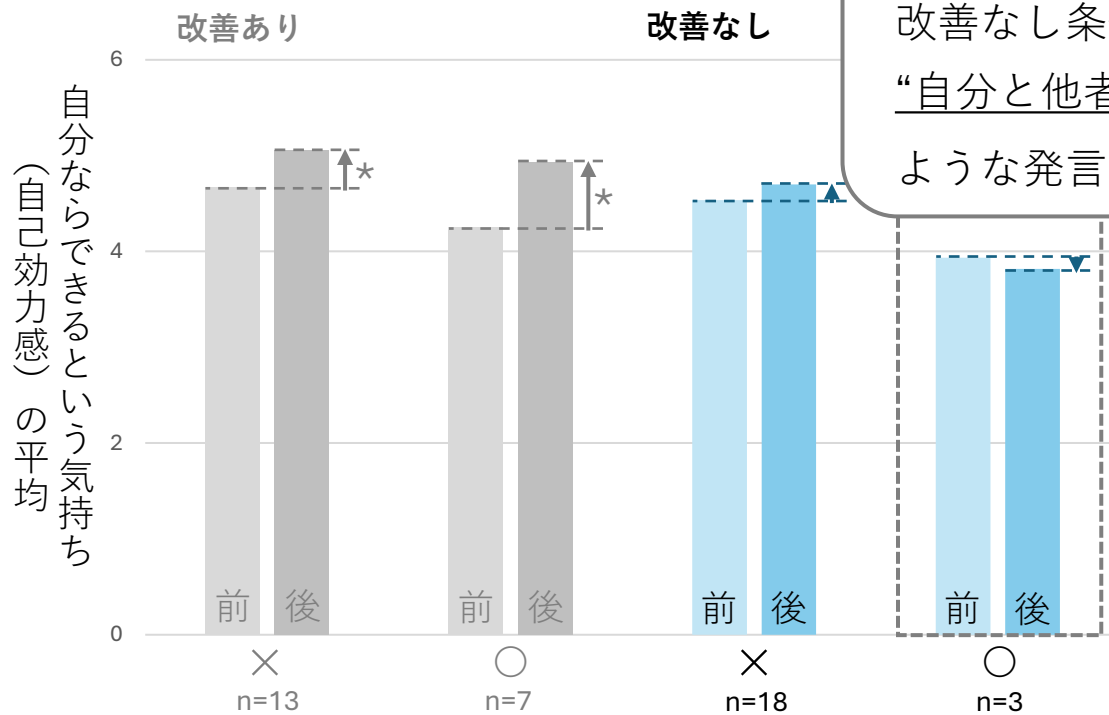
クリプトムネシア（勘違い①）と自己効力感



改善あり条件では
クリプトムネシアが生じた人の方が自己効力感が有意に上昇した
▶ 仮説1 を支持している

結果

クリプトムネシア（勘違い①）と自己効力感



実験終了後のインタビューにて

改善なし条件でクリプトムネシアが生じた人は
“自分と他者のアイデアの区別ができていない”

ような発言が多く見られた

改善あり条件では

クリプトムネシアが生じた人の方が自己効力感が有意に上昇した

▶ 仮説1を支持している

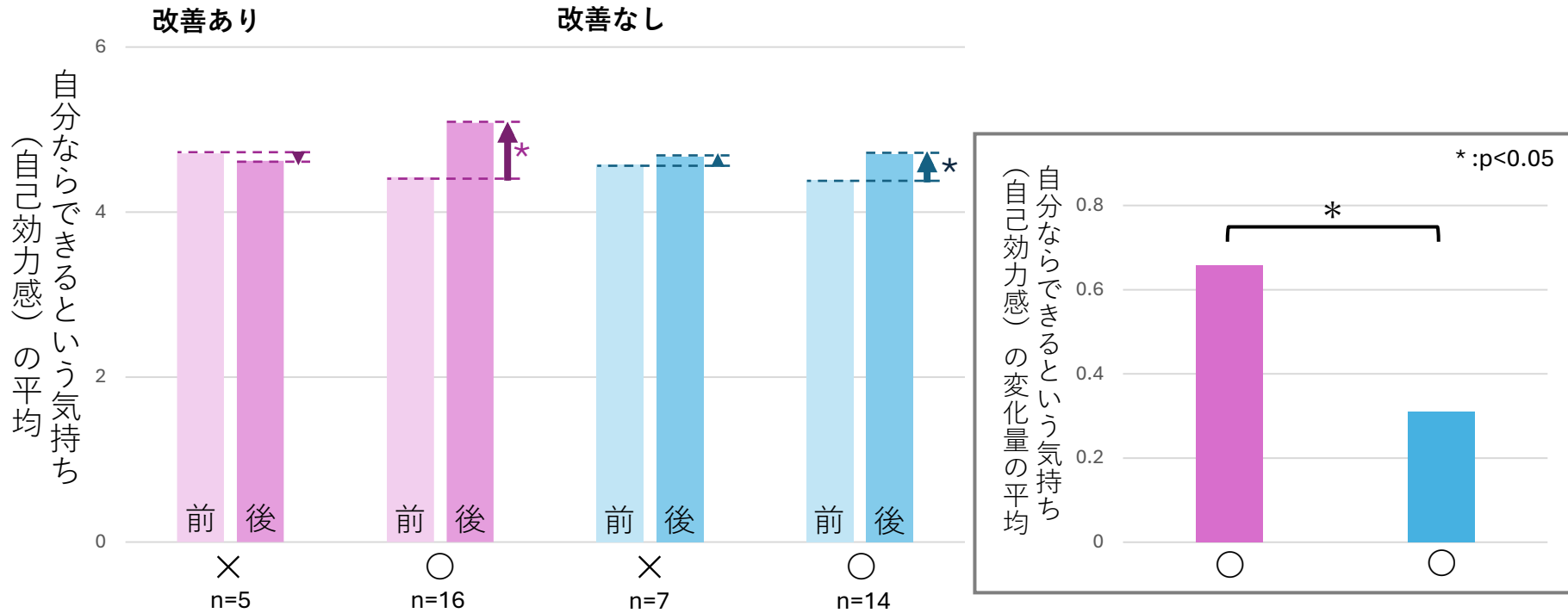
改善なし条件では

クリプトムネシアが生じても自己効力感に変化しない/低下する可能性

▶ 仮説1に反する

結果

出ていないアイデアの思い込み (勘違い②) と自己効力感



改善あり条件・なし条件ともに
出ていないアイデアの思い込みが生じた人は自己効力感が有意に上昇した
▶仮説2を支持している

改善あり条件で出ていないアイデアの思い込みが生じた人の方が
自己効力感が有意に上昇した

まとめ

● 結果

- アイデアの改善を踏まえたうえでクリプトムネシア（勘違い①）が生じたとき、自己効力感は上昇する。
- 出ていないアイデアの思い込み（勘違い②）が生じたとき、自己効力感が上昇する可能性がある
- アイデアの改善を踏まえたうえで出ていないアイデアの思い込み（勘違い②）が生じた場合の方が、自己効力感は上昇する

改善と勘違いをうまく活用すれば、ワークショップでの自己効力感を高められる

